

リハビリテーション科

スタッフ紹介

さわだこうしろう 沢田光思郎	(H15)	准教授（リハビリテーション部）
かきた まり 垣田 真里	(H18)	学内講師
しもむら かつみ 下村 克己	(H7)	助教
さくらい ももこ 櫻井 桃子	(H27)	助教
きむら ひろき 木村 洋輝	(H31)	学内助教

私たちの業務

■ 外来診療

リハビリテーション科専門医による専門的な診断、治療、コンサルテーションなどを完全予約制で行っております。具体的な診療内容は以下をご参照ください。

1) 様々な疾患が原因で生じた障害に関する診療

麻痺や高次脳機能障害などで生じた移動能力、食事能力、コミュニケーション能力の低下などを有する方の今後の対応について診療を行います。

2) 脳血管障害や脊髄損傷で生じた痙縮に関する診療

脳血管障害や脊髄損傷によって生じる障害のひとつに、筋肉が突っ張ってしまう「痙縮」という症状があります。痙縮の部位、程度、日常生活の様子に応じて、運動療法、装具療法、ボツリヌス療法、ITB（髄腔内バクロフェン療法）など、適切な治療を提供します。

3) 補装具に関する診療

これまで義肢、装具、杖、車いすなどを使用されてきた方や、今後の使用を希望される方に対して、義肢装具士などと連携し、身体機能、日常生活などに適した機器の選定・適合を行います。

4) ポストポリオ症候群の発症・進行予防に関する診療

幼少期にポリオ（脊髄性小児麻痺）に罹患した方は、大人になってから、さらに筋力低下、機能低下などを生じる「ポストポリオ症候群」を発症する場合があります。この発症・進行予防目的の運動療法、補装具療法、生活改善などについて、ご相談に応じます。

5) バラスポーツに関する診療

バラスポーツは、障害をお持ちの方の健康増進、生きがいの創造にも貢献します。すでに取り組まれている方、ご興味のある方はご相談ください。京都府立城陽リハビリテーション病院やサン・アビリティーズ城陽などと連携しています。

※当院では外来通院によるリハビリテーション治療（理学療法、作業療法、言語聴覚療法）は、実施しておりません。必要に応じて、当院短期入院または他施設の紹介で対応させていただきます。

※可能であればご持参いただきたいもの：原因となる疾患の発症から現在までの経過をまとめたメモ、これまでのリハビリテーション治療の内容に関する資料、過去に使用された、あるいは現在使用中の補装具、お薬手帳、身体障害者手帳、介護保険証 など

■ 入院診療

筋力低下、麻痺、痙縮歩行障害、摂食嚥下障害、言語障害、呼吸機能障害をはじめとした日常生活活動の低下を有する患者さんに対して、各診療科医師、病棟看護師、リハビリテーション部療法士、管理栄養士、ソーシャルワーカー、義肢装具士などとチームを組んで、リハビリテーション治療を提供しています。

外来診療担当医師予定表

令和8年6月1日現在

曜日	月	火	水	木	金
担当	担当医	垣田	木村	沢田	担当医
専門	リハビリテーション 診療一般	リハビリテーション 診療一般 脳血管障害 脊髄損傷	リハビリテーション 診療一般	リハビリテーション 診療一般 脳血管障害 ポストポリオ症候群	リハビリテーション 診療一般 脳血管障害

府立医大 救急対応 リハビリテーション科外来 TEL 075-251-5013（外来時間帯）
URL <https://www.kpum-reha.com/>

救急外来

TEL 075-251-5645・5646